

Mint Club

23号
ミントクラブ



造幣局

第136次製造貨幣大試験



造幣局で製造した貨幣の量目が所定の公差(法定量目との許容誤差)内にあるかどうかの試験を行う恒例の「製造貨幣大試験」が、額賀財務大臣を執行官として、11月12日(月)、造幣局において執行されました。

製造貨幣大試験は、通貨に対する信頼を維持するため、明治5年(1872年)、第1回が行われて以来、本年は第136回目に当たります。

今回の製造貨幣大試験の対象貨幣は、平成19年度中に製造した500円から1円までの6種類の通常貨幣及び2007年ユニバーサル技能五輪国際大会記念千円銀貨幣並びに平成18年度中に製造した南極地域観測50周年記念500円ニッケル黄銅貨幣の中から選取した約1万2千枚で、それらが天秤計量された結果、全ての貨幣が公差内であることが確認されました。

また、製造貨幣大試験に引き続き、日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念500円ニッケル黄銅貨幣の打初め式が行われました。



日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念 500円ニッケル黄銅貨幣打初め式



平成20年銘貨幣セット販売のお知らせ

日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念 500円ニッケル黄銅貨幣入り平成20年銘貨幣セットのご案内



平成20年3月頃に「日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念500円ニッケル黄銅貨幣」が発行され、金融機関の窓口で引換えが行われます。

造幣局では、この記念500円ニッケル黄銅貨幣1枚と、平成20年銘の未使用の500円から1円までの6種類の通常貨幣を収納ケースに入れた貨幣セットを販売する予定です。

なお、具体的な販売要領等については、通信販売受付開始時に、DM、新聞広告及び造幣局ホームページでお知らせします。

平成20年1月～3月の貨幣セット販売予定

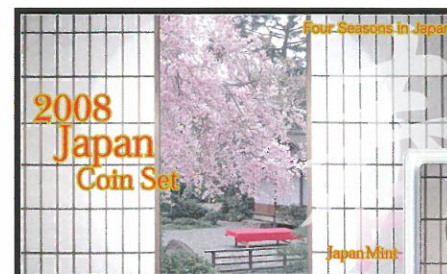
販売区分	名 称	販売価格	受付開始時期
通信販売	平成20年銘通常ブルーセット(年銘板有)	7,500円	受付開始時に、DMでお知らせします。
	同 上 (年銘板無)	7,350円	
	日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念 500円ニッケル黄銅貨幣入り平成20年銘貨幣セット	未 定	
	桜の通り抜けブルーセット	13,000円	
	桜の通り抜けセット	1,800円	
通年販売	平成20年銘ジャパンセット	1,900円	平成20年1月下旬頃から、 造幣局構内ミントショップ、 オンラインショップで 販売予定。
	平成20年銘記念日セット	2,000円	

※「ペーパーウエイト」につきましては、平成19年銘をもって製造・販売を終了させていただくこととなりました。

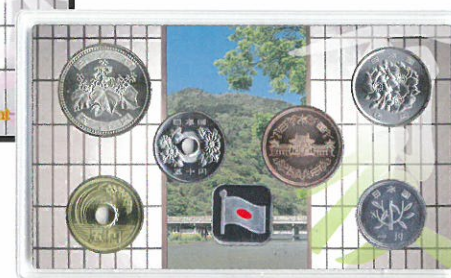
長い間ご愛顧いただきまして、ありがとうございました。

※ この販売予定は、変更することがあります。

平成20年銘通常ブルーセット(年銘板有)
7,500円



ジャパンセット 1,900円



記念日セット 2,000円

写真はイメージ図です。

「ジャパンセット」及び「記念日セット」につきましては、『送料は別途ご負担』となります。
詳細につきましては、下記のところまで、お問い合わせ願います。

<お問い合わせ先>

造幣局お客様サービスセンター TEL 06-6351-2626 (平日9時～17時)

※ お掛け間違いのないようにお願いします。

信頼と安心の印

ホールマークをご存知ですか？ ～貴金属製品品位証明記号～



本誌をご覧になられているお客様の中にはご存知の方もいらっしゃるかとは思いますが、このミントクラブに掲載されている金や銀など貴金属製のメダル等の販売のページをよくご覧になっていただくと、「造幣局品位証明刻印入り」との記載が見つかるか

と思います。この「造幣局品位証明刻印」が通称「ホールマーク」と呼ばれているものになります。正式には「貴金属製品品位証明記号」といいます。

このホールマークは、貴金属製品を製造、または、販売を行っている業者の方からの依頼に応じて、造幣局が製品の品位試験（分析を行い、製品に含まれる貴金属の純度の割合を調べることを）を行い、この試験に合格したものにマークを打刻しているもので、一般の方々からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

このマークは任意の制度として設けられています。そのため、市販されている貴金属製品にはマークのない製品もあります。しかし、貴金属の品位は目で見てわかるものではありません。信頼できるマークがあつてこそ、どなたにも判別が可能となるものです。

ホールマークのデザインを少し説明しますと、貴金属の種類によっていくらか異なりますが、基本的には「日の丸」と「ひし形の中に品位を千分率で示した数字が表示されたもの」となります。

貴金属製品の品位証明区分と証明記号

（詳細は右に示す表をご覧ください。）

「ホールマーク」という言葉の由来は、14世紀頃、英国の貴金属細

白金製品		金製品		銀製品		白金及び金を接合した製品（コンビ製品）		証明記号
品位 (1000分中)	証明記号	品位 (1000分中)	証明記号	品位 (1000分中)	証明記号	品位 (1000分中)	証明記号	
1000	 <1000> Pt	1000	 <1000>	1000	 <1000>	1000	1000	 750 900Pt (例) (注) 〰 の上部の数字は金の品位を、下部の数字は白金の品位を示す。
950	 <950> Pt	917	 <917>	950	 <950>	950	917	
900	 <900> Pt	835	 <835>	925	 <925>	900	835	
850	 <850> Pt	750	 <750>	900	 <900>	850	750	
		625	 <625>	800	 <800>			白金製品  <900> Pt
		585	 <585>					
		500	 <500>					
		417	<417>					
		375	<375>					

 造幣局の記号を示す <1000> 品位が1000であることを1000分率で示す Pt 純白金または白金合金を示す

工業者（Gold Smith）の組合が、ロンドンに会館（Gold Smith's Hall）を建て、組合に加入している業者の製造した貴金属製品の検査を行い、これに合格したものに証明印を打って販売することにより製品の信用を保持した、つまり、ホールでマークを打ったことが語源となっております。

このホールマークは、製品に打刻することを任意とする、または、強制とするなど、その制度自体の違い、表示方法の違いなどがありますが、欧州の多くの国で実施されているものです。

日本においては、大正時代、第1次世界大戦による、いわゆる大戦景気を受け、国民の生活レベルが向上し、貴金属製品が盛んに造られるようになりましたが、悪徳業者が横行し、取引の安全が害されるなど、その対策について業界一般から陳情がなされるといった状況でした。



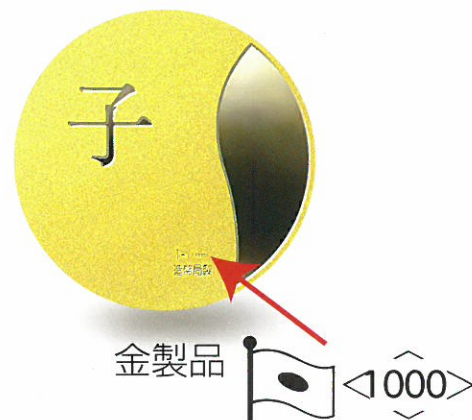
▲ ホールマーク打刻作業

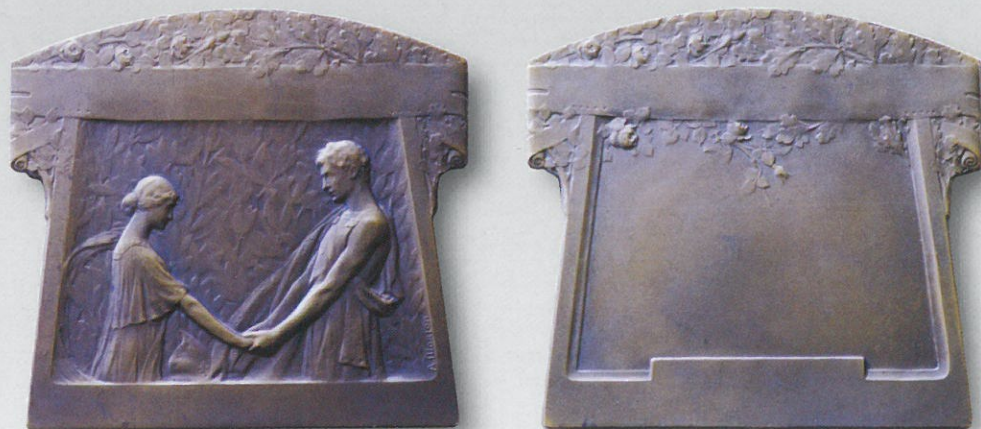
このため、ホールマークの業務が昭和4年に造幣局の事業に加えられ、現在に至っています。

さて、現在に目を向けますと、造幣局でホールマークを打刻している製品は、年間約30万個（平成18年度実績）あります。このホールマークが打刻されている製品としては、ネックレス、ブレスレット、そして指輪といった装身具が多く、その他としては銀盃、時計側

（腕時計の本体となる外側のケース）、また、おりん（小さい鉢形をした仏具で、読経の際に小さい棒でたたいてチーンと鳴らすものです。）といったものもあります。

本ページをお読みになられたお客様のお持ちのものにも、ホールマークが打刻された製品があるかもしれません。探偵気分でお探しになれるのも一興かと思います。





A | B

A. 結婚牌、表。フランス造幣局製。青銅。全高55.9mm。全幅60.2mm。下端の幅が56.5mm。重量88g。ブロンズ燻し仕上。

特殊な家の様な形の枠の中に若い男女が手を取合っている。背景は一面に月桂樹、^{カシハ}、^{バラ}、薔薇の薄肉レリーフでおほはれてゐる。上部の横帯はリボンの様なものであって^{ハリ}梁の様なものではない。右下隅に下から上へA.Morlonの凸文字署名がある。下のコバにコルヌコウピアとBRONZEの打込印がある。此れはフランス造幣局のミント・マークである。コバはすべて^{ヤスリ}鋳で仕上げてあり鋳目が残っている。

“mariage”(マリアアジュ、結婚。)が此の章牌のフランス語の原題である。

B. 全左、裏。上部は^{バラ}薔薇と^{カシハ}榎のレリーフ。中央は結婚した二人の名前を彫込む為の空間である。

原型彫刻のPierre-Alexandre Morlon (1878~1951)はフランスのMaconに生れ、パリの国立美術学校に進み、彫刻をファルギエール、シャブラン、メルシエ、デュボア等に學んだ。パリのサロンには1900年から出品し、1920年、1926年には受賞している。

多くのメダル作品があるが此の人の作品には色々な変形メダルが多い。

(元工芸管理官 松岡隆範 記)

(本稿は、筆者の意向を尊重して筆者の表記をそのまま掲載しています。)

七宝章牌「藤娘」

「藤娘」は、大津絵の画題の一つとして、また大津絵のかつぎ娘に題をとった長唄、日本舞踊の演目として広く知られており、日本人形や羽子板の押絵にも用いられています。

このたび販売する七宝章牌「藤娘」のデザインは、造幣局のオリジナルで、若い娘が黒の塗り笠に藤づくしの衣装で藤の花枝を担げて艶やかに舞う姿を、6色(白、黒、赤、紫、薄紫、薄青緑)の七宝で表現しており、特に藤の花の色彩を優しい色合いに工夫するなど、芸術性の高い作品に仕上がっています。裏面は、日本の伝統文様である「七宝つなぎ」文様を背景に、藤娘・Fujimusumeの文字を配しています。

表面

裏面



図柄は原寸大のイメージ図で商品とは多少異なります。

章牌仕様等

- ・材 質：純 銀
- ・直 径：60mm
- ・重 さ：約160g
- ・厚 さ：約5.5mm
- ・そ の 他：七宝・金メッキ仕上げ、
漆塗り木製ケース入り
- ・販 売 価 格：135,000円(税・送料込み)
- ・販売予定数：500個
(お申し込み多数の場合は抽選となります。)

申込要領

- ・申 込 数：お一人様1個限り
- ・申込期限：平成19年12月13日(木) (消印有効)
- ・申込方法：同封の申込はがきでお申し込みください。
- ・発送時期：払込用紙を、平成19年12月下旬頃から順次発送いたします。
- 商品は、平成20年1月上旬頃から順次発送いたします。
- なお、商品のお届けが平成20年2月下旬頃となる場合があります。

※この章牌の七宝加工工程順を表紙に掲載しています。

平成二十年 純金千支メダル

皆様からご好評をいただいております純金「千支メダル」を今年も販売いたします。
今年からは、これまでの千支メダルに加え、継続して蒐集をお楽しみいただけるよう、新たに純金「千支十二稜メダル」の販売を開始します。
新しい年を記念して、お客様のコレクションの一つにお加えいただき、末永くご愛蔵いただければ幸いです。

『千支メダル』

表面には、平成20年の干支「子(ねずみ)」を浮き彫りし、裏面は、金の輝きを際立たせるために一部をブルー仕上げとしています。



表面



裏面

図柄は原寸大のイメージ図で商品とは多少異なります。

- ・材質：純金(造幣局品位証明刻印入り)
- ・直径：40mm
- ・重さ：約95g
- ・その他：裏面の一部ブルー仕上げ、特製本革ケース入り
- ・販売価格：410,000円(税・送料込み)
- ・販売予定数：300個(お申し込み状況によっては、数量を変更する場合があります。)

申込要領

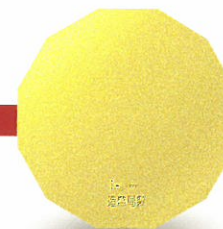
商品種別	千支メダル(子)	千支十二稜メダル(子)
申込数	申込数の制限はありません。	
申込期限	平成19年12月13日(木)(消印有効)	
申込方法	同封の申込はがきでお申し込みください。	
発送時期	払込用紙を、平成19年12月中旬頃から順次発送いたします。 商品は、平成19年12月下旬頃から順次発送いたします。 なお、お申し込み状況によっては、商品のお届けが平成20年1月下旬頃となる場合があります。	

『千支十二稜メダル』

形状は十二角形で、表面の中央部に「子(ねずみ)」を浮き彫りし、その外周部に辰刻法(十二支による時刻表示法)を模した十二支の文字を配しています。裏面は、無地の梨地仕上げです。



表面



裏面

- ・材質：純金(造幣局品位証明刻印入り)
- ・直径：30mm
- ・重さ：約20g
- ・その他：裏面梨地仕上げ、特製桐箱入り
- ・販売価格：100,000円(税・送料込み)
- ・販売予定数：1,000個(お申し込み状況によっては、数量を変更する場合があります。)



JQA-QM9665
JQA-EMS105

発行所 独立行政法人 造幣局
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号
造幣局ホームページ <http://www.mint.go.jp/>
編集兼発行 事業部販売事業課顧客サービス室
電話 06(6351)6928
平成19年11月28日発行(第23号)

このミントクラブはエコマーク商品に認定された再生紙を使用しています

Japan Mint